

イスターカーテン

あけてんで 樹脂複合タイプ 扉

取付説明書

このたびは、TOKOの商品をご採用いただきましてありがとうございます。
商品の組み立てや取り付けには、この説明書をお読みになり、正しく美しく仕上げてください。
ここに示した注意事項は、商品の性能・機能および強度や安全性を確保する上での重要な内容です。
施工にあたって必ずお守りください。

■工事店様へのお願い

同梱されている取扱説明書は、必ず施主様にお渡しください。

———目次———

□施工上の注意事項	P 2
□必要工具類の確認	P 2
□基本納まり(片引き・引分け)	P 3
□梱包内容	P 4
□取り付け手順	P 4
1 障子の吊り込み	P 5~8
■ 障子の構成	P 5
■ 上枠補助の取り外し	P 6
■ 障子の吊り込み	P 6~7
■ 上枠補助の取り付け	P 7
■ 障子の連結	P 8
2 ラッチの調整	P 9~10
■ ラッチの調整	P 9
■ ラッチの解除	P 9
■ 建て付け調整	P 10
□施工後の点検	P 10

□施工上の注意事項

- ① 各部材の組み立て・取り付けは、取付説明書通り確実にこなってください。
- ② ねじ止め箇所は、指示してあるねじをすべて確実に締めてください。
- ③ 指定の部品以外は使用しないでください。
- ④ 枠の内法寸法を十分確認してください。
- ⑤ アルミ部材の腐食防止のため、以下の点に注意してください。
 - (1) 基礎用モルタルに海砂を使用しないでください。塩分が含まれていますので、腐食の原因になります。
また、凝結促進剤・減水促進剤・凍結防止剤などを使用しないでください。
 - (2) アルミ部材の表面に付着したモルタルや汚れは、速やかに取除いてください。
 - (3) アルミ部材と、銅板や鉄などの異なる金属が接触しないようにしてください。
必要に応じて、ビニールテープ・塗装などにより絶縁処理をおこなってください。
- ⑥ 施工は、二人以上で扱うなど、十分ご注意ください。
- ⑦ 施工後、ねじ類にゆるみやガタツキがないか点検してください。
- ⑧ 商品の外観に有害なキズ、ヘコミ等がないか確認してください。
- ⑨ 開閉作動や施解錠が正常におこなえることを確認してください。

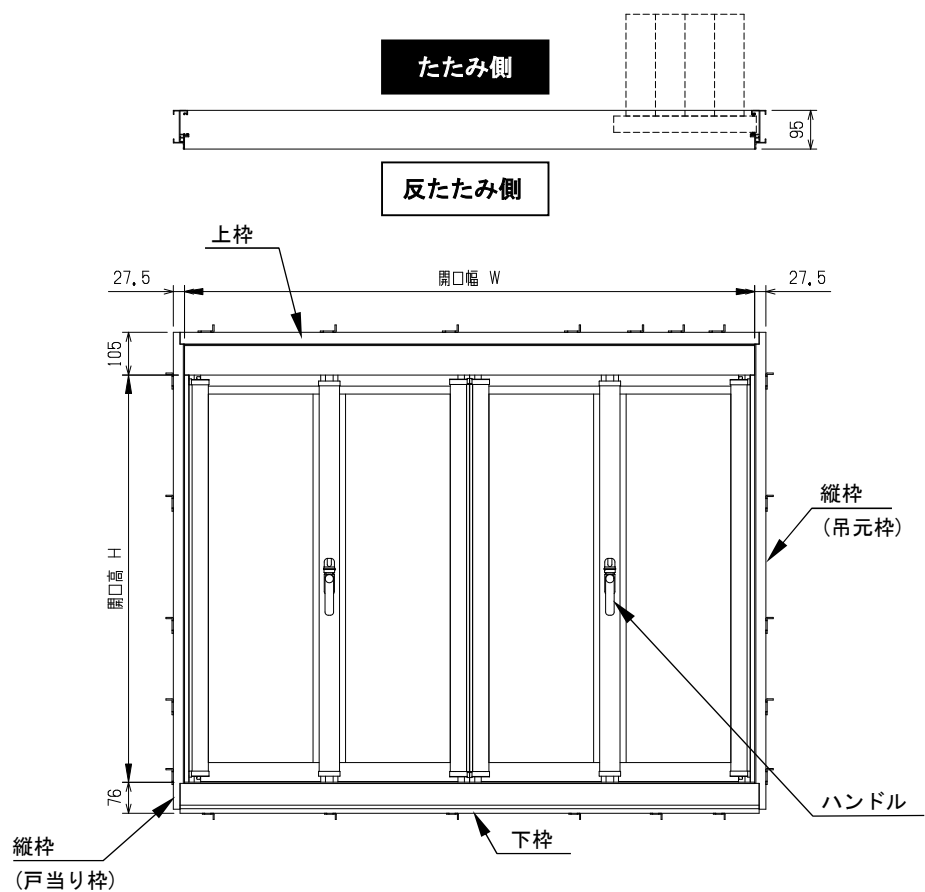
□必要工具類の確認

(+)手動ドライバー	脚立
カッター	足場板
スケール	かませ物(パッキン、枕木など)
ひも	

□基本納まり

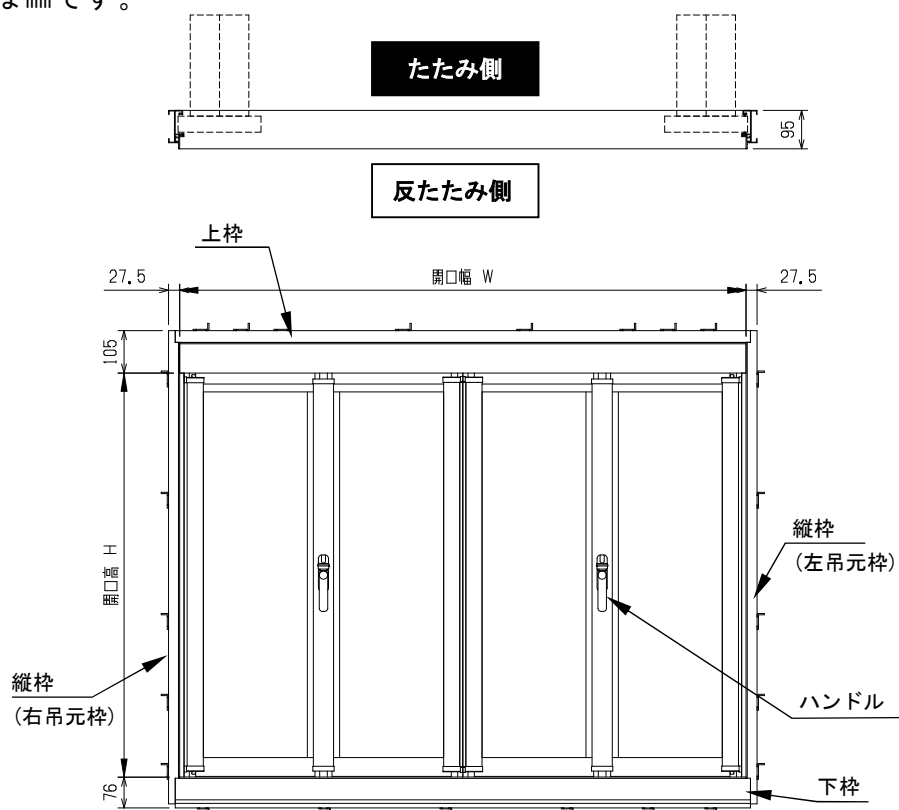
[片引き]

本図は、片引き：左勝手を示す。
※寸法単位はmmです。

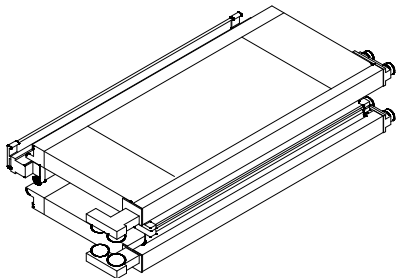


[引分け]

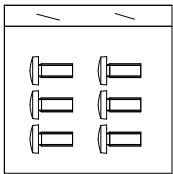
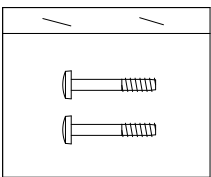
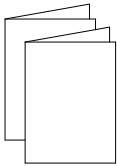
本図は、引分けの場合を示す。
※寸法単位はmmです。



□ 梱包内容

品名	形状	個数	備考
障子		必要数	

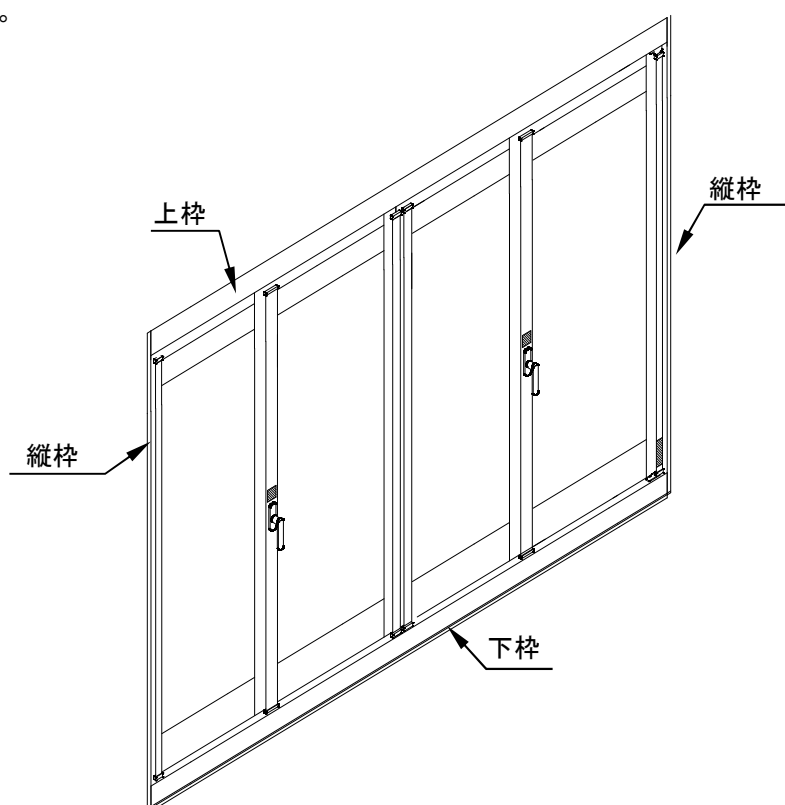
■ 同梱部品

上枠補助用ねじ		必要数	上枠中央部に貼り付け
連結用ねじ		必要数	引手枠中央部に貼り付け
(扉)取付説明書 取扱説明書		2種類	障子に同梱 (引分けの場合は、 右1/*障子になります) *:1~3の記載 ※P5参照

□ 取り付け手順

施工は、以下の手順でおこなってください。

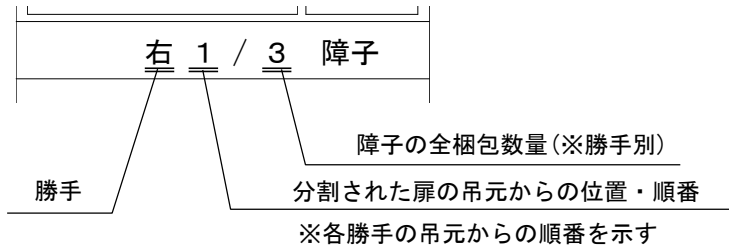
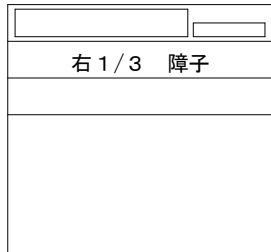
- 1 障子の吊り込み**
 - 障子の構成
 - 上枠補助の取り外し
 - 障子の吊り込み
 - 上枠補助の取り付け
 - 障子の連結
- 2 ラッチの調整**
 - ラッチの調整
 - ラッチの解除
 - 建て付け調整



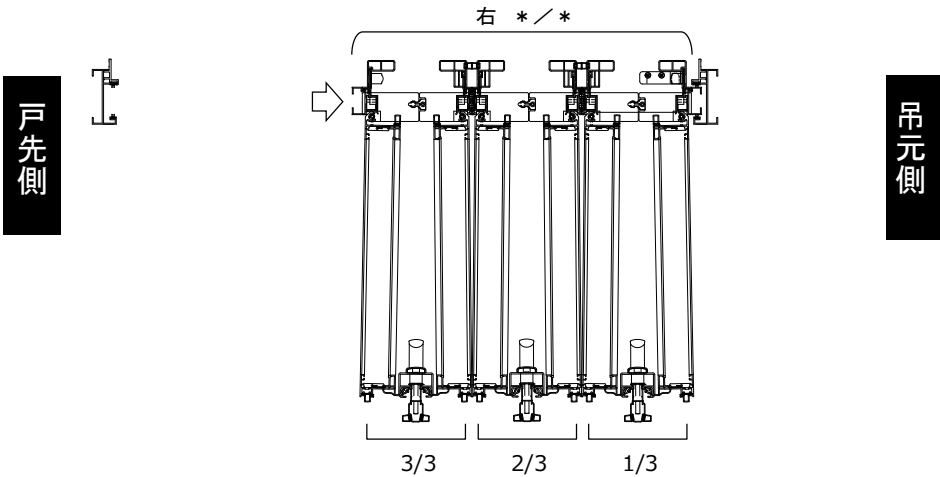
1 障子の吊り込み

■障子の構成

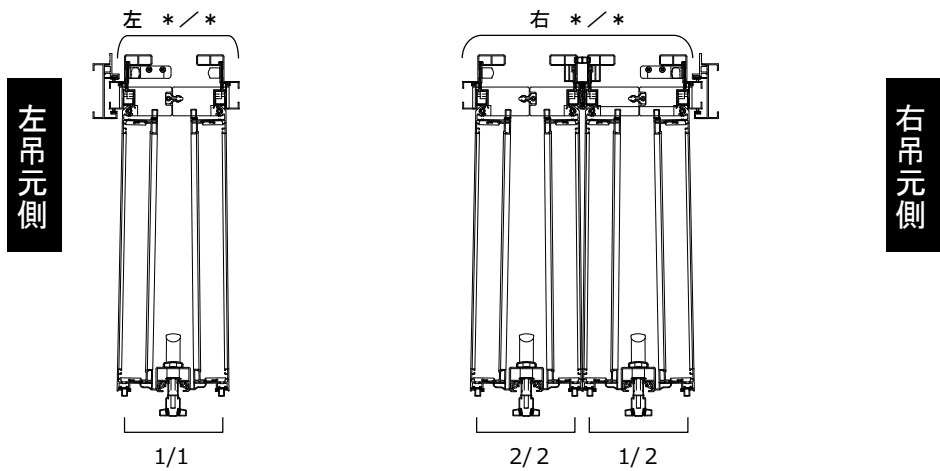
障子は、仕様により種類が異なります。梱包箱側面に貼り付けてある梱包表示ラベルにて、障子の配置を確認してください。
吊元枠に近い障子から吊り込む仕様になっています。



【片引き右勝手(3障子)の場合の表記例】



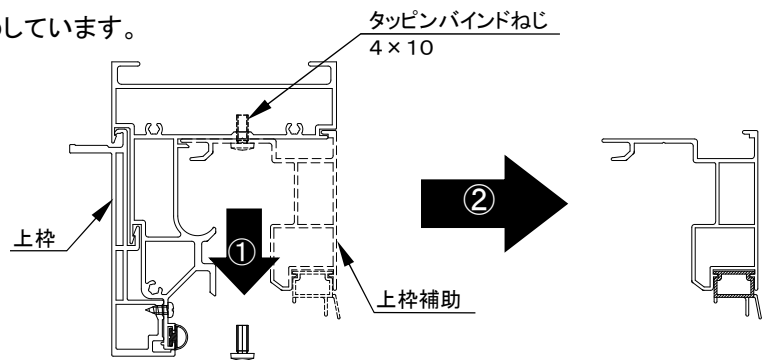
【引分け(1+2障子)の場合の表記例】



■上枠補助の取り外し

上枠の中央付近にねじ1本にて、上枠補助を仮止めしています。

- ①ねじを取り外します。
- ②上枠補助を上枠から外してください。

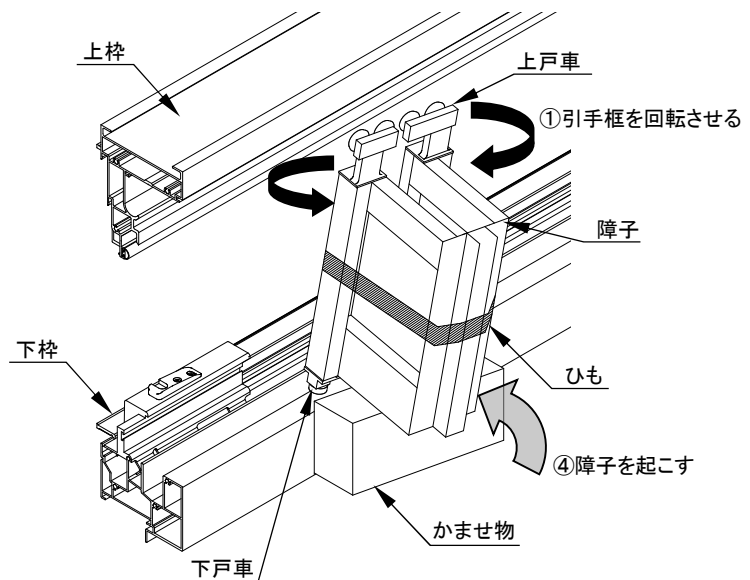


■障子の吊込み

障子は室外側から吊り込みます。

- ①引手框を横に回転させます。
(上戸車を右図の状態にします)
- ②障子が開かないように適当なひもで固定します。
- ③下戸車や障子の下部が傷つかないように障子の下にかませ物を置いてください。
障子の下部に部品が取り付けられていますのが取り外さないでください。

注意 下戸車が傷つくと開閉に支障をきたします。
かませ物は、厚み35mm以上の物を使用してください。
また、上枠や下枠のタイト材を傷つけないようにしてください。



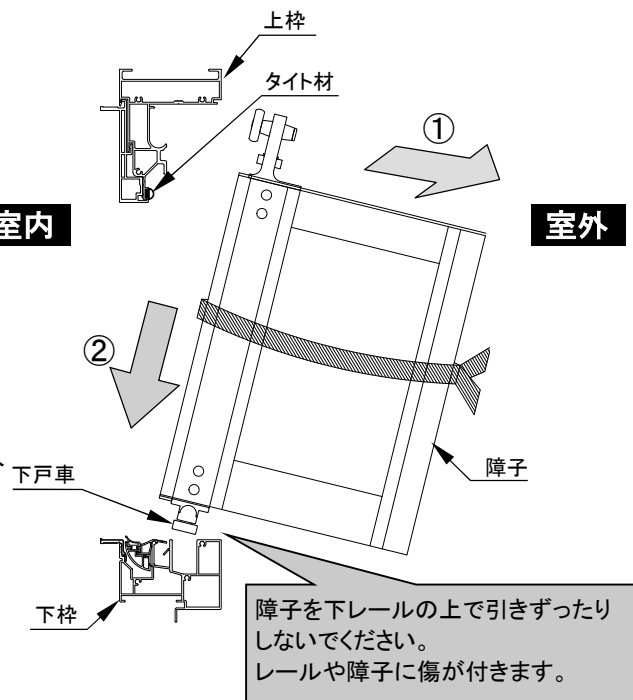
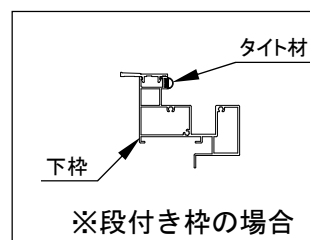
- ④障子を起こしてください。

下戸車を、直接床に置かないでください。

・下戸車を下枠の溝に入れる

- ①折りたたんだ障子を室外側に傾けてください。
- ②下戸車や下枠に傷つかないように少し持ち上げながら、下戸車を下枠の溝に入れます。

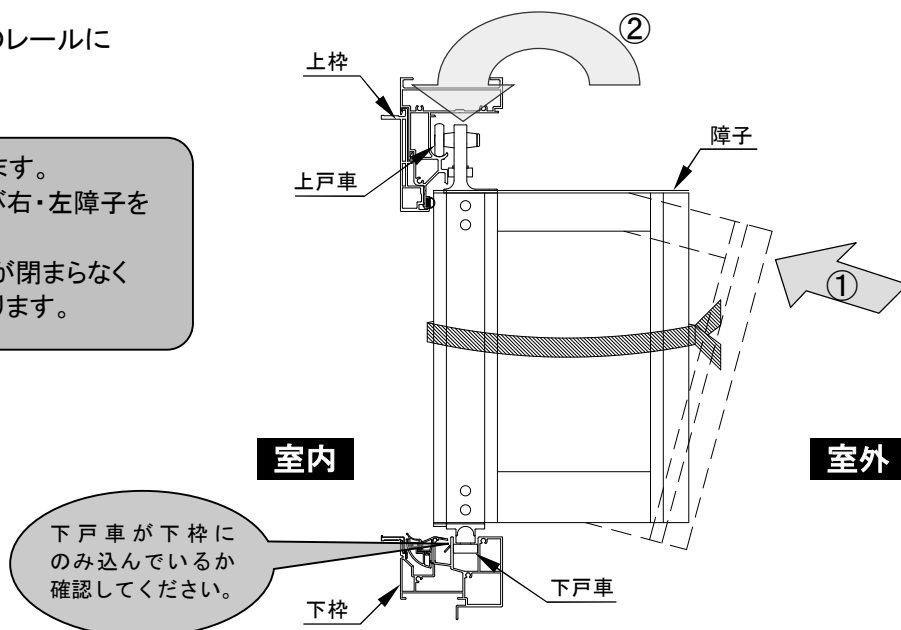
吊り込み時に、下戸車やタイト材が傷つかないように注意してください。



・上戸車を上枠のレールにのせる

- ①下戸車を下枠溝にのみ込ませたまま、障子をまっすぐ起こします。
- ②障子を持ち上げ、上戸車を上枠のレールにのせます。

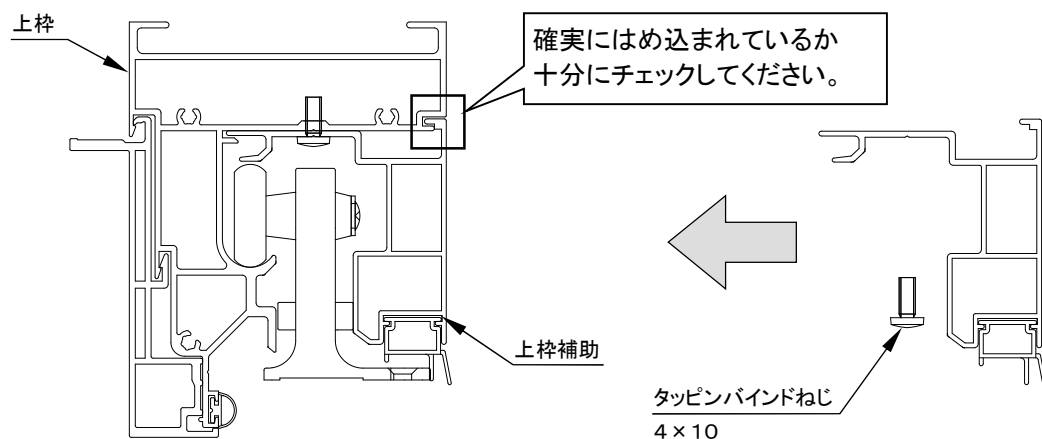
注意 障子には、右・左勝手があります。ラッチの有無(P9参考)および右・左障子を確認めて吊り込んでください。勝手が違っていると、障子が閉まらなくなったり、製品破損につながります。



■上枠補助の取り付け

- ①上枠へ上枠補助を下図のようにしっかりはめ込んでください。
 - ②上枠補助および上枠には、ねじ留め用の穴が複数箇所あいていますので全箇所、ねじ留めしてください。
- ※ねじ留めする際には、最初に中央付近を留め、次に端から順に留めていくと、確実に固定することができます。

注意 上枠補助が下図のように上枠にはめ込まれていなかったり、同梱された(指定された)ねじ以外を使用した場合、室内への水漏れや製品破損につながります。

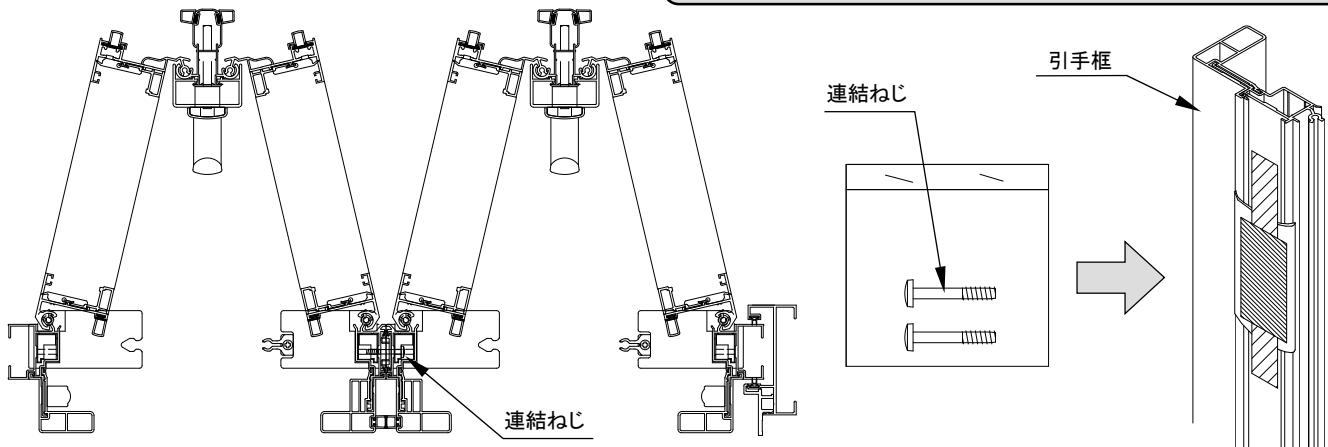


■障子の連結

・連結位置

突き合わせ引手框に設けられた貫通穴を連結ねじで固定してください。

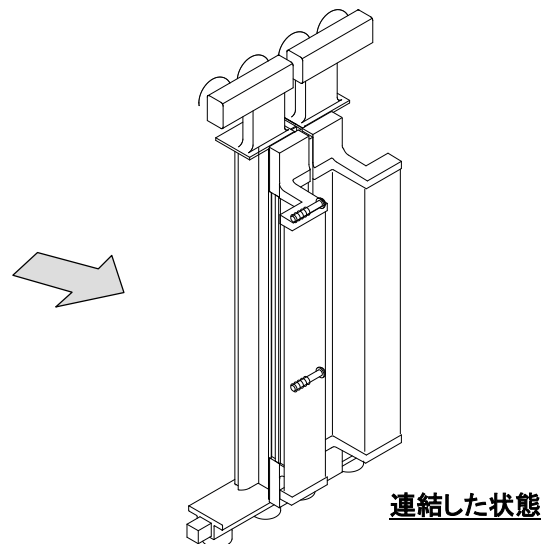
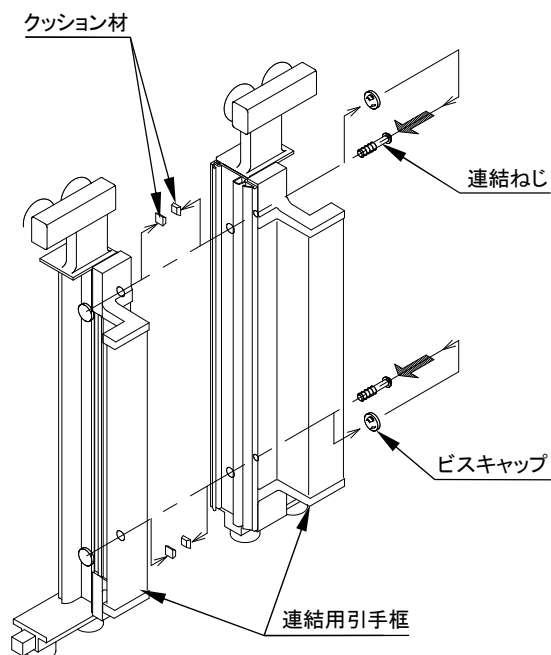
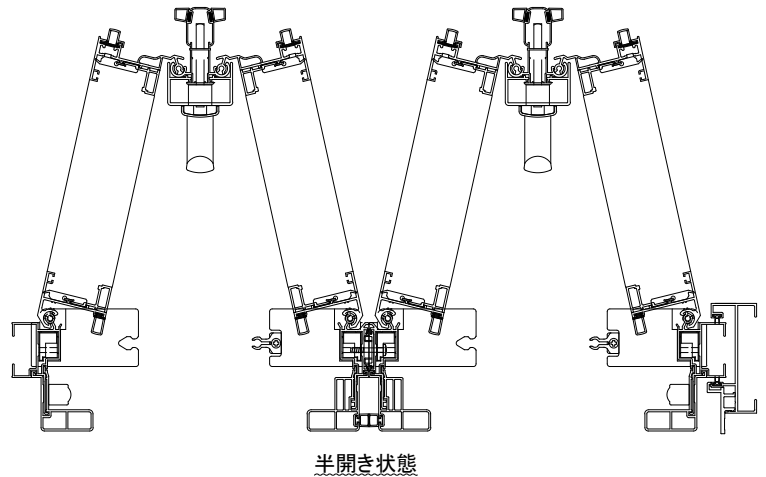
連結ねじは、障子の引手框部にテープ留めされています。



・連結方法

障子連結は、連結する障子を半開き状態にして、室内側で行います。

- ①室内側から見て、連結する右側の引手框の上下に取り付けられているビスキャップとクッション材(左右の引手框)を外します。
(ビスキャップは再度使用しますので、なくさないようにしてください。)
- ②連結する引手框を合わせます。
- ③連結ねじを取り外したビスキャップの穴よりねじを入れ、引手框同士にすき間がなくなるまで締め付けてください。
- ④ビスキャップを取り付けてください。



2 ラッチの調整

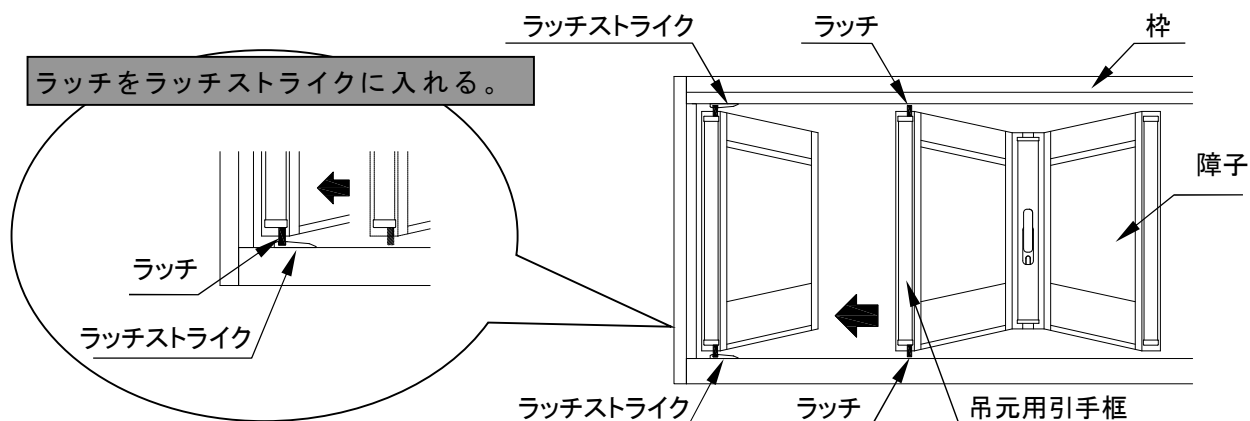
より快適な開閉のために、必ず下記のことを行ってください。

・吊元側の引手框は、常に固定になります。

障子を吊り込んだ後、まず吊元用引手框の上・下に取り付けられたラッチを、枠に取り付けられているラッチストライク（ラッチ受け）に入れてください。

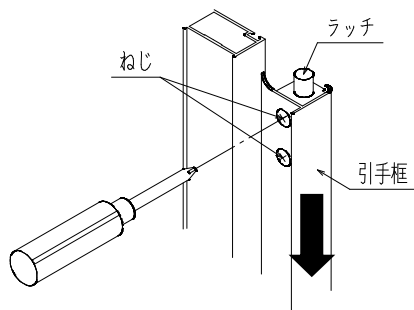
ラッチがラッチストライクに入りにくい場合、すべての障子を吊り込み、障子を閉じれば自動的にラッチストライクに入ります。

ラッチをラッチストライクに入れる。



■ラッチの調整

吊元用引手框のラッチをラッチストライクに入れた後、ラッチのかかり具合を確認してください。かかりの調整は、2本のねじをゆるめることで上下に調整することができます。調整後は確実にねじを締付けてください。



・工場出荷時、上・下のラッチは一番かかりが浅くなる状態で、固定してあります。

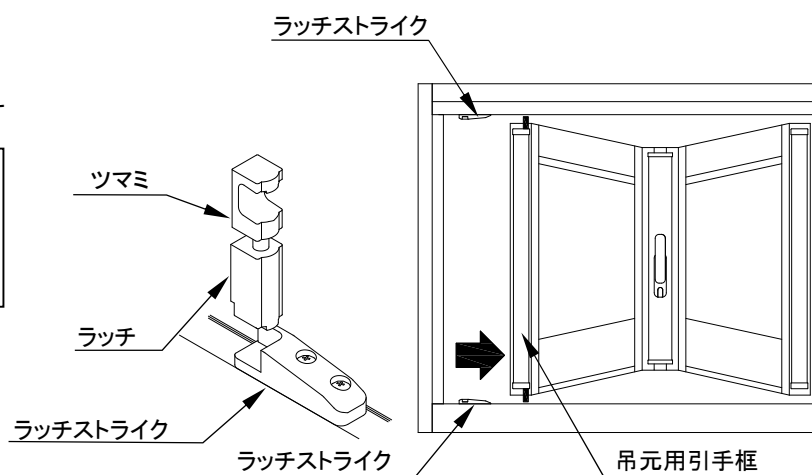
ラッチはかかりが深くなる方向に4mm調整可能です。

■ラッチの解除

ラッチの解除方法

- ① ラッチのツマミ部分を上方に引きます。
- ② ①の状態、吊元用引手框を引きます

注意 確認などが終わりましたら、障子を全閉した状態でラッチがラッチストライクに入っていることを確認してください。



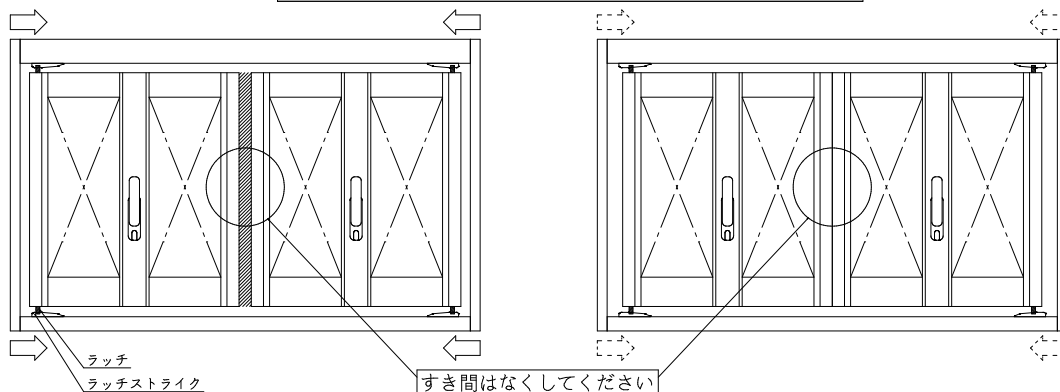
■建て付け調整

・突き合わせすき間をなくしてください。

障子を全閉し、引手框同士の突き合わせ部にすき間がないか確認してください。



すき間は漏水の原因となります。



すき間がある場合、障子の締め付けが強い場合、ラッチを解除し、吊元引手框を縦枠より引き出し、ラッチストライクの位置を調整してください。

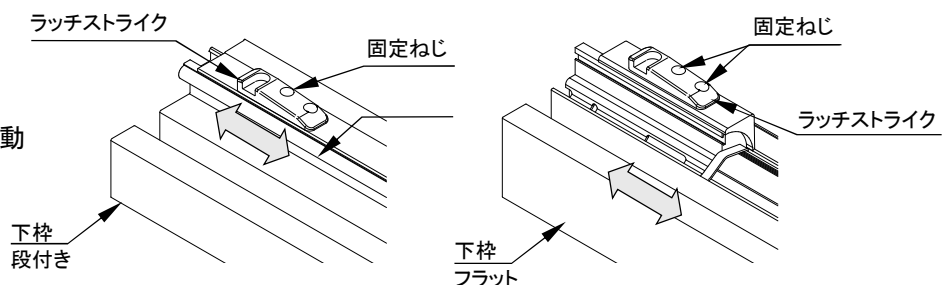
ラッチストライクの調整方法

- ①吊元引手框のラッチを解除し、縦枠から、吊元引手框を引き出してください。(P9ラッチの解除方法参照)
- ②上下枠に取り付けてあるラッチストライクのねじを緩めてください。
- ③ラッチストライクの位置を調整し、②で緩めたねじを締め付けてください。
- ④縦枠に戻し、ラッチがラッチストライクに入っていることを確認してください。

◎ラッチストライクの調整方向

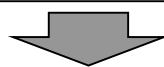
すき間がある: 枠中央部へ移動

障子の締め付けが強い: 縦枠側へ移動

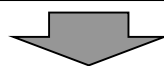


□施工後の点検

取り付け作業をしたねじ類の締め具合を確認してください。



本体についているモルタル等は完全に拭き取ってください。



障子の開閉テストをして、開閉に支障がないかを確認してください。

- ・開閉がスムーズであること。
- ・障子が完全に折りたたむこと。
- ・グレモンハンドルが180°回転すること。
- ・突き合わせ部にすき間がないこと。



株式会社 TOKO

〒916-0062 福井県鯖江市熊田町1-100

電話 (0778)62-1122(代)

FAX (0778)62-2234